

# 記者配布資料

平成25年8月23日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 えさと けんすけ 江里 健輔	共通教育機構長 あかぼね きよし 赤羽 潔	地域共生演習担当 教授 シャルコフ ロバート	083-928-3413 (携帯) 090-7122-3662
発表内容の 関係地域	[全県]、岩国、柳井、周南、[山口]、防府、宇部、小野田、下関、長門、萩、首都圏			

## 1 件名

高大連携によるやまぐち多世代交流・地域共生授業の展開  
～山口市荒高地区「もりさま祭り」への参加（女みこし神幸の復活7年目の挑戦）～

## 2 趣旨

平成19年度に、山口県立大学と野田学園高等学校の連携・交流事業の一環として、山口県立大学の共通教育科目「地域共生演習」を履修する学生たちが中心となり、山口市荒高地区「もりさま祭り」のみこし神幸を女みこしとして復活させる取組を行いました。

この取組は、以前、文部科学省の補助事業である現代GPに採択された事業の一つとして行ってきましたが、当該GPの事業期間が終了した平成21年度以降も引き続きその成果を継承して実施するものです。

本学や野田学園高等学校からみこしの参加者を募るだけでなく、祭り全体の企画・運営にも本学の若い力（日本人学生・留学生）を導入するなど、地域の祭り及び伝統の存続・活性化のモデル的な取組となっています。

## 3 日時、場所

平成25年9月1日（日）

14時00分 今八幡宮（山口市八幡馬場）にて神事

14時40分 今八幡宮出発～ 堅小路 ～NAC（中市）をリヤカーでのみこし運搬にて神幸

15時10分 商店街（中市～長寿寺）を女みこし・子どもみこし約120人が神幸

NACにて祭りの由来についての紙芝居

米屋町みずは銀行前、道門広場、長寿寺の3箇所のみこし・太鼓打ちのパフォーマンス

16時30分 御旅所（長寿寺：山口市本町）到着

19時00分 お祭り（長寿寺） 夜店、演芸舞台、子どもコーナー（21時終了）

## 4 参加者

山口県立大学 学生 18名 野田学園高等学校 生徒 35名

女みこし：女子学生・女子生徒

子どもみこしの世話、みこし先導、太鼓打ちなど：男子学生・女子生徒

夜店(2店舗の企画・運営)、演芸舞台(企画・運営等)、子どもコーナー(企画・運営)：学生

## 5 問合せ先

地域共生演習担当

教授 シャルコフ ロバート 携帯電話 090-7122-3662

